

「M1b 期非小細胞肺癌に対する同時化学放射線療法（CCRT）および遠隔転移に対する局所制御目的の放射線治療併用療法の有用性検討」について

当科では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で審査され病院長の承認を受けています。

＜研究の背景・意義＞

少数の遠隔転移を伴う非小細胞肺癌に対し、原発巣および転移巣双方に局所治療を行う集学的戦略の有効性が注目されています。

＜研究の目的＞

M1b 期と診断し、胸部原発巣に対し同時化学放射線療法（CCRT）と、転移巣に対し局所制御のための放射線治療を施行した症例をまとめ、予後などの成績を学会で発表します。

＜研究責任者・研究組織＞

京都桂病院 副院長 西村尚志 / 呼吸器内科医師 楠咲

＜対象となる患者さん＞

当院で 2017 年から 2023 年に M1b 期と診断し、胸部原発巣に対し同時化学放射線療法（CCRT）と、転移巣に対し局所制御のための放射線治療を施行した患者 11 名が対象です。

＜研究期間＞

2026 年 4 月 19 日までを予定しています。

＜研究の方法・使用する項目など＞

2017 年 9 月 19 日～2025 年 10 月 14 日までの通常診療で得られた患者さんの情報を電子カルテから収集しまとめます。診断や治療内容、治療効果などの診療情報を使用します。

＜個人情報の取り扱い＞

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。

＜研究成果の発表について＞

研究結果はまとめて、学会や出版物として公表することがありますが、その場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。

<データ提供による利益と不利益>

研究に参加されなくても今後の診療を受けるうえで不利益はありません。この研究は過去の診療録などの情報を用いた観察研究です。研究に参加された場合、患者さんに対して利益・不利益のどちらも発生することはありません。予定外の治療や検査、薬が追加されることもありません。

<データ利用の拒否と中止>

診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記問い合わせ先にお申し出ください。この研究から除外します。その場合でも今後の治療を受けるうえで一切の不利益はありません。

<本研究の資金源（利益相反）>

利益相反はありません。

<問い合わせ先>

本研究に関するご質問等がありましたら担当医師まで問い合わせ下さい。

問い合わせ先

京都桂病院

京都市西京区山田平尾町 17 番地

TEL：075-391-5811(代表)

責任医師：副院長 西村尚志 / 呼吸器内科医師 楠咲